

〈理念〉

「信頼され愛される病院」

- ・私たちは、「安心・安全の医療と介護」で地域に貢献します
- ・私たちは、「地域の救急医療」に貢献します
- ・私たちは、「地域と共に、人と共に」の心を大切にします
- ・私たちは、「全職員とその家族の健康」を大切にします



ごあいさつ

私たちの愛生会は、昭和26年に設立して、地域の人たちの健康を守り、地域の人たちから「信頼され愛される病院」を目指して活動し、今年で70周年を迎えました。

本来であれば、70周年の節目に地域の人たちと私たち職員もともに、喜びを分かち合い盛大にお祝いしたいところですが、一昨年から発生し、その感染拡大が治まる気配を見せない新型コロナのため、自粛せざるを得ない状況です。

このコロナ禍は、人々に死をもたらすような健康被害を与える災厄で、精神的被害も受け、社会経済活動にも大変な障害となっています。そして、わたしたちの愛生会も、コロナの発生初期から、コロナの患者さんの診断と治療に積極的に参加し、少なからず貢献いたしました。しかし、コロナ禍は18か月経過しても治まるどころか、むしろ世界中で未曾有の被害をもたらしています。

新型コロナの特効薬は未だなく、確立された治療法也没有。現時点で、新型コロナの有効な対策は、3密を避けることと早期のワクチン接種以外ありません。

今年は、東京オリンピックも控え、早期に全国民にワクチン接種を受けてもらえるようにすべきですが、残念ながらワクチンの確保量が少なく、医療者の半分程度と後期高齢者の少数にしか、ワクチン接種はできていません。一刻も早く、すべての日本人がワクチン接種を受けられ、コロナ禍以前の明るい元気な日本になってほしいと願うばかりです。

今年の私たち愛生会の紀要は、このようなコロナ禍の中で、各診療科、透析クリニック、リハビリテーション病院などの医療部門と介護事業部門のそれぞれの新型コロナに対する取り組みを特集いたしました。この特集のように、愛生会職員一人一人がみな一生懸命に感染拡大を抑え込もうと努力してまいりましたが、残念ながら昨年12月にリハビリテーション病院で、そして今年の4月には第一病院で患者さんと職員からコロナ患者を出しました。それでも、何とか被害を最小限に抑えてがんばっています。

このコロナ禍という危機を乗り越え、さらに愛生会は71周年に向かって飛躍しますので、皆さまのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和3年5月

理事長 片岡 祐司

目次

- 1 理事長挨拶
- 4 法人の沿革
- 6 法人概要
- 14 愛生会の新型コロナウイルス感染症への取り組み

総合上飯田第一病院

20	診療データ	
26	手術実績	
28	検査実績・各科データ	
31	診療科概要	
	消化器内科・内視鏡センター	31
	消化器外科・消化器センター	31
	腎臓内科・腎センター	32
	循環器内科	32
	脳神経内科	33
	糖尿病内科	33
	緩和ケア外科・緩和ケアセンター	34
	甲状腺・内分泌センター	34
	乳腺外科・乳腺センター	35
	形成外科	35
	整形外科・人工関節・関節鏡センター	36
	皮膚科	36
	泌尿器科	37
	産婦人科	37
	耳鼻いんこう科	38
	眼科	38
	麻酔科	39
	老年精神科(物忘れ評価外来)	39
	地域包括サポートセンター	40
	健診センター	40
	看護部	41
	リハビリテーション科	41
	栄養科	42
	臨床検査部	42
	放射線科	43
	薬剤部	43
	臨床工学科	44
46	専門医資格一覧	
48	病診連携医療機関一覧表	
50	地域連携医療機関一覧表	
52	科別紹介患者数	

上飯田リハビリテーション病院

54	各科データ	
55	概要	
	上飯田リハビリテーション病院	55
	看護部	55
	通所リハビリテーション	56
	地域医療連携室	56
	リハビリテーション科	57
	栄養科	57
	薬剤部	58
58	専門医資格一覧	

上飯田クリニック

60	概要	
	上飯田クリニック	60
	看護部	61
61	専門医資格一覧	

介護福祉事業部

64	愛生訪問看護ステーション
64	あいせいケアステーション
65	あいせいデイサービスセンター
65	愛生居宅介護支援事業所
66	愛生訪問看護ステーション平安通
66	愛生複合型サービスセンター平安通
67	こもれびの家平安通

愛生会看護専門学校

70	概要
----	----

各種活動

72	各科研究活動
78	地域貢献活動
80	委員会活動

論文・抄録

94	研究発表等
----	-------

法人の沿革

昭和22年	上飯田第一医院開設	
昭和26年 4月	名古屋市北区上飯田通に医療法人愛生会 上飯田第一病院開設(20床)	
昭和30年 9月	名古屋市昭和区天日町に八事好徳病院開設(75床)	
昭和34年 5月	上飯田第一病院看護婦寮(鉄筋4階)完成	
昭和37年 3月	上飯田第一病院本館(鉄筋3階)完成(106床)	昭和22年頃(法人設立前の診療所) 昭和26年頃
昭和40年 6月	八事好徳病院を閉鎖し名古屋市北区楠町味鏡如意五反田に楠第一病院として新築移転開設(125床)	
昭和43年 3月	名古屋市北区上飯田北町に上飯田第一病院新病棟開設(211床)	
8月	楠第一病院5、6階増築完成(245床)	昭和37年頃
昭和48年 11月	上飯田第一病院(鉄筋7階)新築移転(205床)	
昭和49年 3月	旧上飯田第一病院を改築し人工透析部(20床)を設置	
昭和50年 8月	楠第一病院を医療法人楠会として分離	
昭和53年 3月	上飯田第一病院職員单身寮若草苑新築(鉄筋4階)	
昭和57年 3月	名古屋市北区上飯田北町に若草苑を改築し上飯田第二病院を開設(50床)	昭和48年頃
昭和60年 10月	上飯田第二病院増築完成(71床)	
昭和62年 4月	人工透析部を上飯田第一病院附属上飯田クリニックとして分離し開設(19床)	
4月	上飯田第一病院増床(225床)	
4月	名古屋市北区五反田町に愛生会看護専門学校を開校	
7月	上飯田第二病院増床(100床)	
平成2年 4月	名古屋市北区五反田町に社会福祉法人愛生福祉会特別養護老人ホーム愛生苑開設(定員100名)	
5月	上飯田第一病院増改築完成	
6月	名古屋市北区上飯田北町に上飯田クリニック新築移転	
平成3年 6月	上飯田第一病院を総合上飯田第一病院に名称変更	
平成7年 6月	上飯田第二病院を療養型病床群として増改築(90床)	
平成8年 4月	名古屋市北区上飯田通に愛生訪問看護ステーション開設	
11月	上飯田第二病院を全病床長期療養型病床群へ移行	
平成9年 7月	上飯田第二病院4Fにリハビリ室増設	
平成11年 12月	医療法人愛生会上飯田第二病院 財団法人日本医療機能評価機構 認定取得(療養病院<Ver.3.1>)	
平成13年 4月	介護保険施行に伴い上飯田第二病院全床医療型療養病床とする	
4月	上飯田第二病院にて回復期リハビリテーション病棟新設(療養45床、回復期リハビリテーション45床)	
12月	総合上飯田第一病院新病棟(南館入院棟)完成(225床)	平成13年
平成14年 6月	上飯田第二病院を回復期リハビリテーション病棟へ移行(全床回復期リハビリテーション90床)	
12月	総合上飯田第一病院北館(外来棟)改修工事完了	
平成16年 11月	名古屋市北区上飯田通に あいせいデイサービスセンター開設	
12月	医療法人愛生会上飯田第二病院 財団法人日本医療機能評価機構 認定更新(療養病院<Ver.4.0>)	
平成17年 4月	愛生居宅介護支援事業所を総合上飯田第一病院内から上飯田通沿いのCKビルに移転再開	
6月	総合上飯田第一病院から医療法人愛生会総合上飯田第一病院に名称変更 上飯田第二病院から医療法人愛生会上飯田リハビリテーション病院に名称変更 上飯田クリニックから医療法人愛生会上飯田クリニックに名称変更	

平成18年	2月	医療法人愛生会総合上飯田第一病院 財団法人日本医療機能評価機構 認定取得 (一般病院<Ver.4.0>)		総合上飯田第一病院
	4月	医療法人愛生会総合上飯田第一病院が臨床研修病院の指定を受ける		
	4月	名古屋市北区東部地域包括支援センター開設(名古屋市委託事業)		
平成20年	9月	医療法人愛生会総合上飯田第一病院北館(外来棟)に健診センター開設		上飯田 リハビリテーション病院
平成21年	12月	医療法人愛生会上飯田リハビリテーション病院 財団法人日本医療機能評価機構 認定更新		
	12月	医療法人愛生会上飯田リハビリテーション病院 財団法人日本医療機能評価機構 認定更新(療養病院<Ver.6.0>)		
平成22年	1月	医療法人愛生会上飯田リハビリテーション病院増築工事完了		平成22年
	1月	院内託児所を現在の場所に移転		
平成23年	1月	名古屋市北区東部地域包括支援センターから 名古屋市北区東部いきいき支援センターに名称変更		上飯田クリニック
	2月	医療法人愛生会総合上飯田第一病院 財団法人日本医療機能評価機構 認定更新 (一般病院<Ver.6.0>)		
	5月	愛生会シンボルマーク「あいちゃん」商標登録完了		
平成24年	6月	医療法人愛生会総合上飯田第一病院南館(入院棟)増築工事完了		平成24年
	7月	医療法人愛生会総合上飯田第一病院南館(入院棟)に腎センター開設		
	9月	医療法人愛生会上飯田リハビリテーション病院 増床(98床) 医療法人愛生会上飯田クリニック 病床数変更(11床)		
平成25年	1月	医療法人愛生会総合上飯田第一病院南館(入院棟)増床(230床) 医療法人愛生会上飯田クリニック 病床数変更(6床)		介護福祉事業部
	3月	医療法人愛生会総合上飯田第一病院北館(外来棟)に内視鏡センター開設 医療法人愛生会総合上飯田第一病院北館(外来棟)に乳腺センター開設		
	6月	名古屋市北区東部いきいき支援センター閉鎖		愛生会看護専門学校
	7月	名古屋市北区辻本通にあいせいデイサービスセンター新築移転		
平成26年	4月	社会医療法人に移行		
	10月	社会医療法人愛生会総合上飯田第一病院南館(入院棟)に地域包括ケア病棟開設 (一般192床、地域包括ケア38床)		各種活動
	10月	名古屋市北区上飯田通にあいせいケアステーション開設		
	12月	社会医療法人愛生会上飯田リハビリテーション病院 財団法人日本医療機能評価機構 認定更新(リハビリテーション病院<3rdG:Ver.1.0>)		
平成28年	1月	社会医療法人愛生会総合上飯田第一病院南館(入院棟)増床(236床) (一般196床、地域包括ケア40床) 社会医療法人愛生会上飯田クリニック 病床数変更(0床)		論文・抄録
	2月	社会医療法人愛生会総合上飯田第一病院 財団法人日本医療機能評価機構 認定更新 (一般病院2<3rdG:Ver.1.1>)		
平成31年	2月	社会医療法人愛生会が健康経営優良法人(ホワイト500)の認定を受ける		
令和1年	12月	社会医療法人愛生会総合上飯田第一病院南館(入院棟)の地域包括ケア病棟増設 (一般148床、地域包括ケア88床) 社会医療法人愛生会上飯田リハビリテーション病院 財団法人日本医療機能評価機構認定更新 (リハビリテーション病院<3rdG:Ver.2.0>)		
令和2年	4月	名古屋市北区東大曾根町にあいせいケアステーションを移転 名古屋市北区東大曾根町に愛生訪問看護ステーション平安通開設 名古屋市北区東大曾根町に愛生複合型サービスセンター平安通開設 名古屋市北区東大曾根町にこもれびの家平安通開設		

法人概要

(2020年12月1日現在)

開設者

社会医療法人 愛生会

- 理事長 片岡 祐司
- 郵便番号 462-0808
- 所在地 名古屋市北区上飯田通2丁目37番地
- 電話番号 052-914-7071
- ホームページアドレス <http://www.aiseikai-hc.or.jp>

急性期医療（一般病棟、地域包括ケア病棟）

社会医療法人愛生会 総合上飯田第一病院

- 院長 山口 洋介
- 郵便番号 462-0802
- 所在地 名古屋市北区上飯田北町2丁目70番地
- 電話番号 052-991-3111
- ホームページアドレス <http://www.kamiida-hp.jp>
- 職員数 750名
(常勤医師49名、看護師260名、
薬剤師14名、診療放射線技師17名、
臨床検査技師19名、臨床工学技士10名、
理学療法士21名、作業療法士14名、言語聴覚士3名)
- 届出病床数 急性期病棟：158床
地域包括ケア病棟：78床
- DPC 医療機関群の種類 DPC 標準病院群
- 救急告示病院の告示の有無 有り
- 二次救急医療施設の認定の有無 有り
- 標榜科目 内科、脳神経内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、
糖尿病内科、腎臓内科、小児科、外科、脳神経外科、整形外科、
リハビリテーション科、消化器外科、乳腺外科、
ペインクリニック外科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、
泌尿器科、産婦人科、老年精神科、放射線科、麻酔科、
形成外科
- 特殊診療 総合診療科
健診センター
甲状腺・内分泌センター
乳腺センター
内視鏡センター
人工関節・関節鏡センター
腎センター
緩和ケアセンター
小児育児発達外来
ワクチン外来
ペインクリニック外来
緩和ケア相談外来
乳房形成外来
スポーツ外来
4D エコー外来
女性外来
耳鳴・難聴外来
物忘れ評価外来
肝炎治療外来
認知症評価外来
腫瘍外来
脊椎外来
骨粗鬆症評価外来

●保険医療機関、公費負担医療機関及びその他の病院の種類

保険医療機関
 労災保険指定医療機関
 指定自立支援医療機関（精神通院医療）
 生活保護法指定医療機関
 原子爆弾被害者一般疾病医療取扱医療機関
 公害医療機関
 母体保護法指定医の配置されている医療機関
 臨床研修病院（基幹型）
 特定疾患治療研究事業委託医療機関
 DPC 対象病院
 愛知県難病指定医療機関
 日本医療機能評価機構認定病院（一般病院2<3rdG:Ver.1.1>）
 救急病院指定
 指定自立支援医療機関（更生医療）
 指定小児慢性特定疾病医療機関

総合上飯田第一病院

上飯田
リハビリテーション病院

●医師の専門性に関する資格の種類

整形外科専門医	3
皮膚科専門医	1
麻酔科専門医	5
眼科専門医	1
産婦人科専門医	1
耳鼻咽喉科専門医	1
総合内科専門医	4
外科専門医	6
消化器病専門医	1
腎臓専門医	3
小児科専門医	1
消化器外科専門医	3
泌尿器科専門医	1
透析専門医	1
消化器内視鏡専門医	1
神経内科専門医	1
乳腺専門医	2
一般病院連携精神医学専門医	1
精神科専門医	1
形成外科専門医	1
循環器専門医	2
リウマチ専門医	1
熱傷専門医	1

上飯田クリニック

介護福祉事業部

愛生会看護専門学校

●施設基準

基本診療料の施設基準

- * 一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1）
- * 総合入院体制加算3
- * 救急医療管理加算
- * 診療録管理体制加算1
- * 医師事務作業補助体制加算1（15対1補助体制加算）
- * 25対1急性期看護補助体制加算（看護補助者5割以上）
（夜間100対1急性期看護補助体制加算、夜間看護体制加算）
- * 看護職員夜間12対1配置加算1
- * 療養環境加算
- * 重症者等療養環境特別加算（個室）
- * 緩和ケア診療加算
- * 栄養サポートチーム加算
- * 医療安全対策加算1（医療安全対策地域連携加算1）
- * 感染防止対策加算1（感染防止対策地域連携加算、抗菌薬適正使用支援加算）
- * 患者サポート体制充実加算
- * ハイリスク妊娠管理加算
- * 後発医薬品使用体制加算1
- * 病棟薬剤業務実施加算1
- * データ提出加算2（200床以上）
- * 入退院支援加算1（地域連携診療計画加算）（総合機能評価加算）
- * せん妄ハイリスク患者ケア加算
- * 認知症ケア加算1
- * 排尿自立支援加算
- * 地域包括ケア病棟入院料2（看護職員配置加算、看護職員夜間配置加算、看護補助者配置加算（6階））

各種活動

論文・抄録

特掲診療料の施設基準

- * 糖尿病合併症管理料
 - * がん性疼痛緩和指導管理料
 - * がん患者指導管理料 イ
 - * がん患者指導管理料 ロ
 - * がん患者指導管理料 二
 - * 婦人科特定疾患治療管理料
 - * 小児科外来診療料
 - * 外来緩和ケア管理料
 - * 糖尿病透析予防指導管理料 (高度腎機能障害患者指導加算)
 - * 乳腺炎重症化予防・ケア指導料
 - * 院内トリアージ実施料
 - * 夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算2
 - * がん治療連携指導料
 - * 外来排尿自立指導料
 - * 肝炎インターフェロン治療計画料
 - * ハイリスク妊産婦連携指導料1
 - * 薬剤管理指導料
 - * 医療機器安全管理料1
 - * 持続血糖測定器加算
(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)
 - * 持続血糖測定器加算
(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
 - * BRCA1/2遺伝子検査
 - * 全視野精密網膜電図
 - * 皮下連続式グルコース測定
 - * 椎間板内酵素注入療法
 - * HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)
 - * 検体検査管理加算 (I)(IV)
 - * ヘッドアップティルト試験
 - * コンタクトレンズ検査料1
 - * 小児食物アレルギー負荷検査
 - * CT 撮影及び MRI 撮影
 - * 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
 - * 外来化学療法加算1
 - * 無菌製剤処理料
 - * 脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)
 - * 運動器リハビリテーション料 (I)
 - * 呼吸器リハビリテーション料 (I)
 - * がん患者リハビリテーション料
 - * エタノールの局所注入 (甲状腺)
 - * エタノールの局所注入 (副甲状腺)
 - * 人工腎臓
 - * 導入期加算1
 - * 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
 - * 組織拡張器による再建手術 (一連につき) (乳房 (再建手術) の場合に限る。)(一次再建、二次再建)
 - * 緑内障手術 (緑内障治療用インプラント挿入術 (プレートのあるもの))
 - * 緑内障手術 (水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
 - * 網膜再建術
 - * 乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ生検 (単独)
 - * ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術 (乳房切除後)(一次一次的再建、一次二期的再建)
 - * ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
 - * 胃瘻造設術 (内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
 - * 輸血管理料Ⅱ
 - * 輸血適正使用加算
 - * 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
 - * 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
 - * 麻酔管理料 (I)
 - * 麻酔管理料 (II)
 - * DPC 対象病院
- | | |
|---------|--------|
| 基礎係数 | 1.0404 |
| 機能評価係数Ⅰ | 0.3571 |
| 機能評価係数Ⅱ | 0.0704 |

実施している先進医療

- * 多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術

●主な設備

3テスラ MRI 装置
 128チャンネルマルチスライス CT
 80チャンネルマルチスライス CT
 骨密度測定装置
 血管連続撮影装置
 X線 TV 装置
 乳房 X線撮影装置 (デジタルマンモグラフィ)
 乳癌診断装置 (マンモトーム)
 乳腺バイオプシー装置
 遺伝子増幅検出装置
 画像伝送システム
 手術室透視装置
 ポータブル X線撮影装置
 外科用 X線撮影装置 (Cアーム)
 デジタルレントゲン撮影装置
 生化学自動分析装置
 血液ガス分析装置
 超音波診断装置
 超音波診断装置 (4D)
 人工呼吸管理装置
 簡易型睡眠時無呼吸検査装置
 全病室医療配管設備
 LDR ルーム
 腹腔鏡下手術装置
 超音波破碎吸引装置
 カプセル内視鏡システム大腸
 カプセル内視鏡システム小腸
 免疫自動分析装置
 経鼻 (細径) 内視鏡
 超音波内視鏡
 NBI 内視鏡
 拡大内視鏡
 内視鏡用炭酸ガス送気装置
 レーザー光凝固装置
 硝子体手術装置
 白内障手術装置
 光干渉断層計
 走査型レーザー検眼鏡
 光力学装置
 多用途透析監視装置
 肺機能検査機器
 脳波計
 筋電図・誘発電位検査装置
 心電計
 生体情報モニタ
 血管機能検査装置
 ホルター心電図
 トレッドミル
 反重力トレッドミル (アルター・ジー)
 CPM
 定置型保育器
 開放式保育器
 吸引式分娩装置
 分娩監視装置
 分娩監視システム
 関節鏡システム
 手術用顕微鏡 (眼科・脳外)
 全身麻酔装置
 電気メス
 キューサー
 輸液ポンプ
 輸血ポンプ
 シリンジポンプ
 低圧持続吸引機
 自動体外式除細動器 (AED)

総合上飯田第一病院

上飯田
リハビリテーション病院

上飯田クリニック

介護福祉事業部

愛生会看護専門学校

各種活動

論文・抄録

回復期医療（回復期リハビリテーション病棟）

社会医療法人愛生会 上飯田リハビリテーション病院

- 院長 水野 正昇
- 郵便番号 462-0802
- 所在地 名古屋市北区上飯田北町3丁目57番地
- 電話番号 052-916-3681
- ホームページアドレス <http://kami2-hp.jp>
- 電子メールアドレス kami2@kamiiida-hp.jp
- 職員数 197名
(常勤医師6名、看護師55名、准看護師5名、介護士19名、薬剤師2名、
診療放射線技師1名、管理栄養士2名、理学療法士31名、作業療法士26名、
言語聴覚士11名、社会福祉士3名)
- 届出病床数 98床
- 標榜科目 リハビリテーション科、内科、神経内科
- 施設基準
基本診療料の施設基準

回復期リハビリテーション病棟入院料1
患者サポート体制充実加算
認知症ケア加算2
入退院支援加算1
入院時食事療養費（I）
診療録管理体制加算1
データ提出加算2 □（200床未満）
医療安全対策加算2

特掲診療料の施設基準

電子的診療情報評価料
地域連携診療計画加算
脳血管疾患等リハビリテーション料（I）
運動器リハビリテーション料（I）
在宅時医学総合管理料

●保険医療機関、公費負担医療機関及びその他の病院の種類

保険医療機関
労災保険指定医療機関
生活保護法指定医療機関
結核指定医療機関
原子爆弾被害者一般疾病医療取扱医療機関
愛知県難病指定医療機関
日本医療機能評価機構認定病院（3rdG：Ver.2.0）

●医師の専門性に関する資格の種類

リハビリテーション科専門医	1
整形外科専門医	3
回復期リハビリテーション病棟専従医師	6

●介護保険サービス

通所リハビリテーション
介護予防通所リハビリテーション

●介護保険体制、加算他

入浴介助体制
 送迎体制
 運動器機能向上体制
 栄養マネジメント（改善）体制
 口腔機能向上体制
 事業所評価加算
 サービス提供体制強化加算
 短期集中個別リハビリテーション実施加算
 リハビリテーションマネジメント加算
 中重度ケア体制加算
 生活行為向上リハビリテーション実施加算
 選択的サービス複数実施加算
 介護職員処遇改善加算
 生活保護指定
 サービス提供体制加算

総合上飯田第一病院

上飯田
リハビリテーション病院

上飯田クリニック

慢性期医療（人工血液透析）


 社会医療法人愛生会
 上飯田クリニック

- 院長 三浦 直人
- 郵便番号 462-0802
- 所在地 名古屋市北区上飯田北町1丁目76番地
- 電話番号 052-914-3387
- ホームページアドレス <http://www.aiseikai-hc.or.jp/clinic/>
- 職員数 常勤20名 非常勤35名
- 標榜科目 内科、外科、泌尿器科
- 施設基準
 - 時間外対応加算 1
 - 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅲ）
 - 運動器リハビリテーション料（Ⅲ）
 - 人工腎臓
 - 導入期加算 1
 - 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
 - 下肢末梢動脈疾患指導管理加算
 - 酸素の購入単価
- 保険医療機関、公費負担医療機関及びその他の病院の種類
 - 保険医療機関
 - 労災保険指定医療機関
 - 指定自立支援医療機関（更生医療）
 - 生活保護法指定医療機関
 - 愛知県難病指定医療機関
- 医師の専門性に関する資格の種類
 - 腎臓専門医 1

介護福祉事業部

愛生会看護専門学校

各種活動

論文・抄録

介護福祉事業部

▶ 愛生訪問看護ステーション

- 管理者 七村 裕美子
- 郵便番号 462-0808
- 所在地 名古屋市北区上飯田通2丁目37番地 CKビル1階
- 電話番号 052-991-3210
- ホームページアドレス <http://aiseikai-hc.or.jp/vn-st/>
- 職員数 15名
- 介護サービスの種類 訪問看護
介護予防訪問看護
定期巡回・随時対応サービス連携
- 介護保険事業所番号 2360390013
- 体制、加算他 24時間対応体制加算
特別管理加算
ターミナルケア体制（看取り介護体制）
サービス提供体制強化加算
生活保護指定
労働保険指定訪問看護事業者指定

▶ あいせいケアステーション

- 管理者 船場 良介
- 郵便番号 462-0823
- 所在地 名古屋市北区東大曾根町上1丁目828番地
- 電話番号 052-991-3152
- ホームページアドレス <http://www.aiseikai-hc.or.jp/vc-st/>
- 職員数 12名
- 介護サービスの種類 訪問介護（身体介護）
訪問介護（生活援助）
介護予防訪問介護
居宅介護
- 介護保険事業所番号 2370303469
- 障害福祉事業所番号 2317301006
- 体制、加算他 特定事業所加算Ⅱ（訪問介護）
特定事業所加算Ⅱ（居宅介護）
介護職員処遇改善加算Ⅰ
介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ
生活保護指定
登録喀痰吸引等事業所（登録特定行為事業所）（介護保険サービス）
登録喀痰吸引等事業所（登録特定行為事業所）（障害福祉サービス）

▶ あいせいデイサービスセンター

- 管理者 中野 正佐仁
- 郵便番号 462-0861
- 所在地 名古屋市北区辻本通2丁目38番地
- 電話番号 052-991-3548
- ホームページアドレス <http://www.aiseikai-hc.or.jp/dcs/>
- 職員数 18名
- 介護サービスの種類 通所介護（通常規模型事業所）
介護予防通所介護・予防専門型通所サービス
- 介護保険事業所番号 2370301364
- 体制、加算他 機能訓練指導体制加算
入浴介助体制加算
送迎体制加算
個別機能訓練体制加算Ⅰ・Ⅱ
サービス提供体制強化加算Ⅱ
運動機能向上加算（要支援）
入浴介助加算
中重度ケア体制加算
介護職員処遇改善加算Ⅰ
介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ
生活保護指定

▶ 愛生居宅介護支援事業所

- 管理者 中嶋 拓
- 郵便番号 462-0808
- 所在地 名古屋市北区上飯田通2丁目37番地 CKビル1階
- 電話番号 052-991-3546
- ホームページアドレス <http://www.aiseikai-hc.or.jp/caremanager/>
- 職員数 9名
- 介護サービスの種類 居宅介護支援
- 介護保険事業所番号 2370300184
- 体制、加算他 特定事業所加算Ⅰ（居宅介護支援）
生活保護指定

▶ 愛生訪問看護ステーション平安通

- 管理者 山田 真行
- 郵便番号 462-0823
- 所在地 名古屋市北区東大曽根町上1丁目828番地
- 電話番号 052-908-8550
- 職員数 5名
- 介護サービスの種類 訪問看護
介護予防訪問看護
- 介護保険事業者番号 2360390427
- 体制、加算他 24時間対応体制加算
特別管理加算
生活保護指定

▶ 愛生複合型サービスセンター平安通

- 管理者 黒田 一成
- 郵便番号 462-0823
- 所在地 名古屋市北区東大曽根町上1丁目828番地
- 電話番号 052-908-5011
- 職員数 15名
- 介護サービスの種類 看護小規模多機能型居宅介護
- 介護保険事業者番号 2390300388
- 体制、加算他 認知症加算Ⅰ・Ⅱ
緊急時訪問看護加算
特別管理加算
総合マネジメント体制強化加算
ターミナルケア加算
退院時共同指導加算
訪問体制強化加算
サービス提供体制強化加算Ⅲ

▶ こもれびの家平安通

- 管理者 船場 良介
- 郵便番号 462-0823
- 所在地 名古屋市北区東大曽根町上1丁目828番地
ケア複合施設平安通2階
- 電話番号 052-908-1355
- 職員数 11名
- 介護サービスの種類 住宅型有料老人ホーム

看護学校

▶ 愛生会看護専門学校

- 学校長 小澤 正敏
- 郵便番号 462-0011
- 所在地 名古屋市北区五反田町110番地の1
- 電話番号 052-901-5101
- ホームページアドレス <http://www.aiseikai-hc.or.jp/ai-kango/>
- 職員数 15名

総合上飯田第一病院

上飯田
リハビリテーション病院

上飯田クリニック

介護福祉事業部

愛生会看護専門学校

各種活動

論文・抄録

愛生会の新型コロナウイルス感染症への取り組み

総合上飯田第一病院

院長 山口 洋介

新型コロナウイルス感染症 ～この1年を振り返り～

2020年の初頭くらいから、中国の武漢で新型コロナウイルス感染症がはじまっているという情報が飛び交いました。SARSよりも致死率は高くなさそうだが、多くの患者さんが発生しているという感じでした。SARSの時もMARSの時も鳥インフルエンザの時も実際の影響はほとんどありませんでしたから、対岸の火事のように思っていました。しかし、今回のCOVID-19は違いました。じわりじわりと確実にこの名古屋にもやってきました。

<戦うことは出来ない！逃げることから始めました。>

第1波の時には病気そのものもわかっておらず、治療法もなく、当院では検査の手立てもありませんでした。入院患者さんを守るのが最優先と考え、発熱患者を徹底的に避け、院内に入れないように防御することから始めました。入院病棟のある南館の玄関を閉じ、院内への入り口を一か所にし、発熱や呼吸器症状のある患者さんを断ることにしました。幸いにも当院には感染に熟知したスタッフがいました。ICT(感染対策チーム)です。感染の認定看護師を中心とした優秀なチームです。感染の認定看護師2名、感染に特化した薬剤師、感染に熟知した医師2名の5名が最前列に立ち、感染を防いでくれました。

<感染の経路を断つ！>

救急外来・外来からの感染経路に加えて、最も重要だと考えたのが職員からの経路です。職員一人一人が自分自身を守り感染しない、そのことが病院を感染させないことにつながることを理解していただきました。加えて、ICT(感染対策チーム)から院内での食事・休憩時の感染対策を指南していただきました。そして、繰り返しICT(感染対策チーム)が巡回することで徐々にしっかりとした感染対策を身につけていただきました。一方、外来における発熱トリアージは大変でした。周囲の病院に先駆けて行ったため、患者さんからの苦情が止まない感じでした。マスクをお願いしてもつけていただけない、職員にお茶をかける方もいました。発熱している方が入れないことに腹を立てて帰られるケースもありました。

<逃げてばかりはいられない！>

地域医療への貢献を第一に掲げている当院にとって、新型コロナウイルス感染症から逃げてばかりはいられません。そのころ、名古屋市からコロナの検体採取をしてくれる病院を探していたため、そこに手上げして帰国者・接触者外来を開始しました。陰圧テントを南館1階に置き、保健所からの依頼を引き受けました。また、同時に全身麻酔予定の患者さんに体調チェック表を作り、入院前の呼吸器症状・発熱の有無を確認、加えて胸部CTで肺炎像の有無をチェックすることにしました。発熱のある患者さんに対しても来院前までの発熱・呼吸器症状を詳細に聴取し、胸部CTを行いました。入院時に発熱・肺炎像のある方は感染対策を伴う個室管理としました。高齢者でコロナの感染があれば、1週間後には典型的な肺炎像をきたすであろうとの予想の元、胸部CT再検し、改善傾向にあれば感染対策を解除するといった泥臭い方策を実行しました。

<いよいよコロナ患者の入院へ>

胸部CTや発熱・呼吸器症状に関する職員の対応は素晴らしいものがあり、胸部CTの所見をICT(感染対策チーム)に報告してくれるレントゲン技師、来院時の症状から胸部CTを勧め、感染対策をしてくれている看護師など、多くの目が来院患者さんに向けられていて感染を防ぐことが出来ました。名古屋市からも入院病床確保の依頼があり、8月から本格的にコロナ病棟を開設することにしました。院内でのPCR検査も可能になり、軽症者から中等症までの患者さんを最大で10床確保しました。

<第3波突入>

第2波が収まってからいろいろな体制を強化しました。当院でも入院病床に加えて、発熱外来、患者さんも発熱トリアージに対して協力的になってくれました。11月から始まった第3波では施設での感染も多くなりました。そのため、発熱者に加えて、施設入所者・施設利用者の方は一旦感染対策を伴う個室管理とさせていただき、PCR検査で陰性確認してから大部屋に移すといった面倒な対応をすることになりました。PCR検査もより多くの方に出来るようになり、術前の方にもお願いするようになりました。第3波ではコロナ専用病棟も満床になり、入院が受け入れできないこともしばしばありましたが緊急事態宣言のおかげで感染者も徐々に減り落ち着きました。

<いよいよワクチン接種>

3月12日に医療従事者用のワクチンが当院にも配布され、3月17日から接種がはじまりました。ワクチンの配布は当初の予想に比べて遅れていますが、ゴールデンウィークまでにはすべての職員が1回目の接種を終えることが出来ると思われれます。

<第4波？>

当院がこの時期までクラスターを発生させることなくここまで来ることができた、すべて職員一人一人の努力のおかげです。まだまだ、新型コロナウイルス感染症との戦いは終わっていませんが、感染に対する職員の意識の高さに感謝します。

西暦	元号	月	日	出来事	補足		
2020年	令和2年	1月	31日	新型コロナウイルスの対応についての通達発出（院長通達）			
			31日	病院入口へ「新型コロナウイルスの検査、治療ができない」旨のお知らせ掲示			
		2月	18日	新型コロナウイルス予防策について発出（院長通達）	海外渡航、不要不急の外出、飲食を伴う会合参加の自粛呼びかけ		
			20日	南館1階にて発熱外来開始（北館1階正面玄関で発熱トリアージ開始）			
			21日	感染に対する心構え発出（理事長通達）	海外渡航、不要不急の外出、飲食を伴う会合参加の自粛呼びかけ		
			27日	職員の新型コロナウイルス対応について発出（理事長通達）	濃厚接触の定義と自宅待機の指針、罹患時専用報告書の策定		
			28日	愛知県医療体制緊急連絡会議にて、帰国者・接触者外来開設要請			
			28日	職員の新型コロナウイルス対応について発出（院長通達）	コロナ確定患者と接触した場合の対応明記		
			3月	2日	各自自治体で小学校、幼稚園等臨時休校が開始される		
		2日		職員の子を預かる臨時預かり所を愛生会館にて設置			
		4日		当院の対応について通達発出（院長通達）			
		6日		新型コロナウイルス患者受け入れに関する約束事発出（院長通達）			
		9日		新型コロナウイルス感染患者1名、5階病棟（陰圧床）での受け入れ体制整備完了	肺炎症状が改善され、酸素・点滴離脱で陰性判定待ち患者受け入れ		
		11日		入院患者への面会禁止			
		11日		南館1階正面玄関出入り禁止			
		11日		北館3階渡り廊下前にて面会者の体温管理窓口設置			
		11日		委員会・会議の自粛について発令1度目（～5/30）			
		13日		新型コロナウイルス対策の特別措置法 成立			
		16日		帰国者・接触者外来開始	平日午後1～3時に南館1階にて対応		
		23日		2020年度入社式施行。新入職員研修中止。			
		4月		7日	緊急事態宣言発令（～5/25）		
			13日	緊急事態宣言に対する愛生会の方針発出（理事長通達）			
			16日	公共交通機関利用職員の時差出勤導入（～5/20）			
			20日	発熱発症時対応について発出（院長通達）	ガイドライン作成		
			27日	北館正面玄関開錠時間を8：00に変更、来院者全員への問診を行う	職員の出勤は北館地下一階とする		
		5月	1日	発熱発症時対応一部変更のお知らせ（院長通達）	ガイドライン変更		
			29日	病院機能評価受審延期決定			
		7月	1日	北館1階トリアージにサーモグラフィー導入	発熱トリアージ当番一名体制へ変更		
			20日	職員休憩室利用の際の注意点発出（院長通達）			
			31日	発熱発症時対応一部変更のお知らせ（院長通達）	ガイドライン変更		
		8月	1日	委員会・会議の自粛について発令2度目（～9/30）			
			11日	施設利用者患者の入院について発出（院長通達）	全症例胸部 CT 施行		
			21日	新型コロナウイルス重点医療機関指定			
		9月	7日	帰国者・接触者外来専用仮設テント使用開始			
		10月	17日	新入職員フォローアップ研修中止			
			12日	従事者慰労金支給			
		11月	25日	COVID-19感染防止についての注意喚起（院長通達）			
			25日	職員出勤場所を北館正面玄関に変更、サーモグラフィーによる発熱チェックを義務化			
		12月	12日	陽性患者・濃厚接触者夜間休日当番 輪番制度参加開始			
			13日	委員会・会議の自粛について発令2度目（～翌年5/6予定）			
		2021年	令和3年	1月	14日	緊急事態宣言発令（～2/7）	
					2日	緊急事態宣言延長（～2/28）	
2月	10日			新型コロナワクチン接種についての意向調査	派遣・委託職員を含めた全職員対象		
	25日			PCR 検査施行について発出（院長通達）	全麻手術患者・転入院患者などの対象者は必須		
	27日			愛知県厳重警戒宣言発令（～3/14）			
	27日			愛知県厳重警戒宣言延長（～3/21）			
3月	11日			愛知県厳重警戒宣言延長（～3/21）			
	16日			新型コロナワクチン接種についてのお知らせ（院長通達）			
	17日			一部職員の新型コロナワクチン接種開始			
	30日			ワクチン接種の医師派遣について意向調査			

総合上飯田第一病院

上飯田
リハビリテーション病院

上飯田クリニック

介護福祉事業部

愛生会看護専門学校

各種活動

論文・抄録

▶ 上飯田リハビリテーション病院

院長 水野 正昇

2019年12月に中国の武漢市で発生したと考えられている新型コロナウイルスが世界で猛威をふるい始めてから既に一年以上が経過しました。

当院では、2020年1月より職員への標準予防策の徹底、環境整備の強化、新型コロナウイルスに特化した感染予防についての注意喚起を行うとともに、入院患者様の面会制限などを行ってきました。

しかし、2020年12月初旬、患者様1名、職員1名のCOVID-19の陽性者が確認されました。一旦、感染は収まりましたが、12月末～2021年1月にかけて患者様及び職員合わせて10名のCOVID-19の陽性者が確認されました。速やかに名古屋市北保健センターに報告し、新規入院の受け入れ及び通所リハビリテーションの利用を中止し、病棟の環境消毒を行いました。病棟の看護師・介護士を自宅待機とし、感染拡大防止に努めました。

その後も臨時的感染委員会を頻回に開催し、再度職員への注意喚起、標準予防策の徹底、総合上飯田第一病院のICTによるN95マスクフィットテスト、個人防護具の着脱などの職員教育やアドバイスをいただき、感染の終息を迎えることができました。

患者様、ご家族様には多大なご迷惑、ご心配をおかけした事をお詫び申し上げます。

入院患者様の安全を第一に考え、現在では、新規の患者様全員に対してPCR検査を実施し、今まで対面で行っていた症状説明をリモートに変更、さらにご家族との面会をお断りさせていただき、病棟に新型コロナウイルスの侵入を防止する対策を実施しております。

この一年、強く感じたことは「医療現場の基本である標準予防策の徹底」と「刻々と変わっていくコロナ感染状況に臨機応変に対応すること」がいかに大切かということです。

コロナ禍の今だからこそ、回復期リハビリテーション病院の強みである多職種でのチーム力を発揮していきたいと思います。ご家族と会えない状況の中で不安や寂しさを抱えて入院生活を送っている患者様の気持ちに寄り添いながら、私達職員ができることは何かと日々考え、安心して過ごしていただけるよう努めています。

今後は、感染力が増大した変異株ウイルスに注視しつつ、更なる感染予防に努め、患者様の健康、安全を守っていくよう職員一同尽力いたします。

▶ 上飯田クリニック

院長 三浦 直人

上飯田クリニックにおける新型コロナウイルスに対する取り組みと今後の課題

2020年1月15日に初めて日本で新型コロナウイルスの感染者が確認され、当院でも標準予防策の徹底をしてきました。2月、感染勉強会にて、患者が透析中にどこを触っているのかブラックライトを用いて実験し、環境整備の際、消毒する範囲を広げて対応しています。また、患者へ新型コロナに対するお願いを玄関などに大きく貼り出し検温の協力を求め、来院時スタッフによる検温の実施も始めました。検温は現在も施行中です。同時に、透析中に定期的な換気を行い、発熱時の検査・隔離方法・透析の流れなどのマニュアル作成も始めました。

4月10日、愛知県緊急事態宣言が発令され、スタッフは透析中、マスク・手袋・ゴーグル着用を必須としました。随時、患者や職員の食堂・待合などが対面、密にならないように配置替えを行いました。

勉強会は、web講演などで新型コロナウイルスと透析室における感染対策について適宜実施し、最新の情報と正しい対応を取り入れるよう努めています。

その後も新型コロナウイルスの感染者が増え、市中感染が広がり身近なところでの感染が懸念されたため、患者や職員、またはその家族が新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者となった場合の対応マニュアルの作成を進めました。

また、社会的に新型コロナウイルスの院内感染が増える一方で、当院の患者が他院入院中に新型コロナウイルス感染のリスクが高まったため、退院時にクリニック通院を再開する前にPCR検査を行うよう取り決めました。

2021年1月中旬に高齢者施設からの当院通院患者が、濃厚接触者と判断されました。PCR検査は陰性でした。念のため2週間は隔離し他の患者とは時差での個別透析を実施しました。

2021年4月には、当院通院患者が新型コロナに感染しました。厚生労働省の指示では、透析患者さんは軽症でも状態が急変して重症化するリスクや致死率も高いため入院となります。しかし新型コロナ感染者が急増して入院ベッドが満床に近い状態である事や透析を実施しながらの入院ベッドが少ない事もあり入院できませんでした。この方はパルスオキシメーターを利用しながら自宅療養となり入院待機となっていました。透析は保健所の準備した送迎車で当院に通院し、1月の濃厚接触者の方と同様に隔離し他の患者とは時差での

個別透析を実施しました。しかしながら発症から1週間後に肺炎を併発して緊急入院となりました。感染早々入院ができていれば、本人の不安も軽減できたのではないかと考えます。当然ながらクリニックでも重症化しないかの不安を抱えながらの透析実施でした。

このように感染をしたら入院ができない状態でクリニック独自で隔離して透析をせざるを得ない事となっています。今回はクラスターには至りませんでした。今後クラスター発生や複数の感染が散発した際の対応や新しい情報などのマニュアルの整備が今後求められます。また患者さんの早期ワクチンの接種も感染対策の一つですが、予約の方法や接種人数枠が少ないなど、なかなか接種できない現状も課題となっています。

▶ 介護福祉事業部

事務長 嶋津 誠一郎

新型コロナウイルス感染症への対応（介護福祉事業部）2020年1月～2020年12月を振り返って

2019年12月に中国武漢で確認された「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」は瞬間に世界的大流行（パンデミック）となりました。

医療現場では、病床不足、医療従事者の疲弊、衛生材料等の不足から非常に大きな混乱が生じ、未だ収束の兆しを感じることはできません。

介護保険分野でもこのような状況は大きく変わることはありませんでした。特に、介護保険サービスを利用されている方は様々なサービスを利用されていることがあり、情報収集、情報把握がとても難しく、戸惑い続けた1年でした。利用者やご家族も感染を警戒してサービスの利用を控える方も増えてきました。

私たちは利用者の生活能力や身体能力の低下を懸念して、直接会って状況確認を行うだけでなく電話連絡を適時進め、様子観察、サービス事業所間での状況共有に努めました。

今後は、利用者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることが出来るよう、感染症が発生しても必要な介護保険サービスを継続的に提供できる体制を構築していきたいと思えます。

＜感染対策に対する基本的な取り組み＞

職員自身の体調管理、行動制限の徹底

標準予防策の徹底（うがい、手洗い、手指消毒、マスク、ゴーグル）

環境衛生の徹底（定期的な環境消毒、換気徹底）

地域における他サービス事業所との感染に関する情報共有体制の構築

▶ 愛生会看護専門学校

副校長 校條 英子

新型コロナウイルス感染症に関する本校の対応の経緯

2020年 2月	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省からイベントの開催に関する考え方が示され、令和元年度卒業生および保護者宛に、卒業式・謝恩会の感染対策及び休暇中の海外渡航の禁止について書面で通知する 卒業式の縮小、謝恩会の中止を決定
3月	<ul style="list-style-type: none"> 学校臨時休業、学生の登校禁止 第31回生の卒業式の挙行。(在校生不在、来賓・保護者の人数制限をし、縮小化を図る)
4月	<ul style="list-style-type: none"> 第34回生の入学式の挙行。(在校生不在、来賓・保護者の人数制限をし、縮小化を図る) 学校臨時休業(4月17日まで)、遠隔授業・課題授業の検討を始める 愛知県緊急事態宣言発出 臨時休業の延期(5月6日まで) 実習施設の学生受け入れ不可能のため、学内実習に計画変更 遠隔授業の職員向けデモンストレーション(Microsoft Teams) 職員在宅勤務の導入 学生のネット環境調査、遠隔授業の準備 Microsoft Teamsの導入準備 課題学習のルールを決め、遠隔授業を含め授業再開に向けて保護者へ状況を書面で説明する
5月	<ul style="list-style-type: none"> 学生にMicrosoft TeamsのID、パスワードを送付。課題学習による授業再開 Microsoft Teamsダウンロード、デモンストレーション 愛知県緊急事態宣言解除 遠隔授業開始 学校再開について保護者へ書面で説明 領域実習(成人・老年・母性・精神・在宅・小児)の一時中止・延期 学年分散登校、対面授業と遠隔授業の組み合わせによるハイブリッド授業の開始 保護者へ書面で説明
6月	<ul style="list-style-type: none"> 3年生臨地実習を学内実習(1クール目)に置き換えて実習開始 3年生臨地実習再開(2.3クール目)
7月	<ul style="list-style-type: none"> 全学年臨時休業(2日間)
8月	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県緊急事態宣言発出(24日まで) 3年生臨地実習を学内実習(4.5.6クール目)に置き換えて実習開始 学内実習の時差分散登校(サマータイムの導入)、学年ごとに夏休み分散 ハイブリッド授業の継続、保護者に書面で説明
9月	<ul style="list-style-type: none"> 2年生保護者会開催 臨地実習再開の件について、保護者へ書面で説明 1年生臨地実習(1日間)
10月	<ul style="list-style-type: none"> 2年生臨地実習開始(11月11日まで)
11月	<ul style="list-style-type: none"> 1年生臨地実習(3日間) 3年生臨地実習 感染予防策の徹底について保護者へ書面で説明
12月	<ul style="list-style-type: none"> 1年生宣誓式、保護者会開催

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大・まん延という未曾有の事態に直面し、暗中模索の1年でした。全国の看護師養成所で働く仲間と情報交換をしながら、「学びを止めない」ために、今何ができるか？を考え対応してまいりました。感染予防策をとりながらの教育方法の変更、制限下のなかでの臨地実習・学内実習でしたが、学生・職員の辛抱強かつ柔軟な対応、保護者の方のご理解とご協力のもと、2020年度のカリキュラムは無事修了することができました。

2021年度も、安心して学業や職務に臨めるように一層尽力してまいります。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。